

令和7年度 地域介護専門職員研修 開催要綱

1. 目的

介護に関する業務を行う上で必要な知識・技術について、より専門性を高め、かつ自らの所属する施設（機関、事業所等）内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担う人材の養成を目的とします。

2. 主催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 受講対象

介護や高齢者など福祉に関わる事業所・施設等の職員で、職場内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担うことができる職員（または期待される職員）を受講対象とします。

4. 各研修の概要

各研修の詳細なプログラム・内容などについては、県社協ホームページからご確認ください。
(<https://qr.paps.jp/HXNIS>)



令和7年度（新） ① 地域アセスメント研修 ～生活問題の解決と地域づくりに生かす地域アセスメント～		定員 30名 参加負担金 一人3,000円 申込締切 5月9日（金）
期日	前期：令和7年6月6日（金）～7日（土）【2日間】	
目的	地域支援に必要な住民ニーズの把握や生活問題の解決のための地域アセスメントの手法を学ぶことで、自らが関わる地域づくりについて再認識する。	
受講対象	地域住民を対象とした講座や研修会等の企画・運営・実施を行っている者、今後担当したいと考えている者	
内容（概要）	・地域アセスメントと地域支援の方法 ・地域の課題と支援の実事例 ・生活課題の解決に向けた調査票作成 など	

令和7年度（新） ② 広報力アップ研修【Zoom オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 一人2,000円 申込締切 4月26日（土）
期日	令和7年5月21日（水）	
目的	地域住民等に向けて広報紙やSNSでの発信を通じ、施設・事業所の取り組みや活動を伝えることで、組織や事業に対する理解や協力につなげ、施設・事業所のブランド力を高める。	
受講対象	施設・事業所における広報紙の作成またはSNS担当者	
内容（概要）	・基本的なレイアウト・デザインについて（事例紹介含む） ・肖像権や著作権について ・写真の加工方法や構図 SNSとの連携など	

令和7年度（新） ③ 職場マネジメント研修【Zoom オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 5月30日（金）
期日	令和7年7月3日（木）	
目的	非管理職等がリーダーシップやマネジメント力を身につけることにより、チーム力を高め、生産性の向上や職場環境の改善につなげる。	
受講対象	施設・事業所で働く非管理職や今後マネジメントを担う職員	
内容（概要）	・マネジメントの基本 ・様々なマネジメント論（人材・組織・ミーティング・セルフマネジメント） ・心理的安全性を高めるには	

④-1 相談援助面接研修（記録編）基礎コース ～明日から活用できる福祉職の「記録」の基礎を学ぼう～ 【Zoom オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 11月7日（金）
期日	令和7年12月10日（水）	
目的	相談援助職や介護職に必要な「記録」の基礎的な考え方や方法を学ぶ。	
受講対象	介護業務や相談援助業務等に1年以上従事している者。または、それに資する経験や知識を持つ者 介護記録や相談記録の基本的な書き方を身につけたい者。	
内容（概要）	・対人援助職に求められる記録 ・記録に必要とされる要素 ・実際の記録の演習等	
④-2 相談援助面接研修（記録編）実践コース ～福祉職の「記録」を事例を通して実践的に学ぼう～ 【Zoom オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 12月16日（火）
期日	令和8年1月21日（水）	
目的	「記録」の実際について、事例を中心に現場で応用し実践できる内容を学ぶ。	
受講対象	過去に相談援助面接研修（記録編）基礎コースを受講している者。 又は今年度実施の「基礎コース」を受講予定の者。	
内容（概要）	・相談援助職として書く記録 ・専門職として適切な表現 ・記録の実際（事例を用いた様々な場面での記録の方法） ・実際の記録の演習等	

⑤ 相談援助面接研修（初級編）		定員 各30名 参加負担金 一人 3,000 円 申込締切 第1回 5月23日（金） 第2回 8月20日（水）
期日	第1回：令和7年6月26日（木）～27日（金） 第2回：令和7年9月18日（木）～19日（金）【各2日間】※いずれも同じ内容です。	
目的	・対人援助職に必要な倫理や、面接の基礎的な知識・技術を再確認する。 ・実践的な手法を学び、相談援助業務を円滑に進められるようになる。	
受講対象	相談援助業務に1年以上従事し、より専門的な知識・技術の修得を希望する者。 または、それに資する経験や知識を持つ者	
内容（概要）	・相談援助専門職に必要とされる資質について ・映像「面接の招待」を使用しての面接練習・相談援助職の心得と対人援助の基本的視点（YESのメンタルセット、脱三角関係など）	

⑥ 相談援助面接研修（中級編） ～相談援助専門職としてのさらなるスキルアップを目指そう～		定員 30名 参加負担金 一人5,000円 申込締切 8月14日（木）
期日	前期：令和7年10月22日（水）～23日（木） 後期：令和7年11月12日（水）～13日（木）【全4日間】	
目的	・相談内容に柔軟に対応・介入できる知識や技術を学ぶ。 ・利用者の生活状況や生活課題を理解・分析するための方法や援助技法を学ぶ。	
受講対象	相談援助業務に5年以上従事している者。または、それに資する経験や知識を持つ者（過去に「⑤相談援助面接研修（初級編）」を受講していることが望ましい。） ※ 受講申込の際に、「基本情報シート」（別紙）の提出が必須条件となります。	
内容（概要）	・相談援助面接の基本と援助姿勢の考え方 ・アプローチ技法（医療モデル、社会モデル、システム論的家族療法アプローチ法など）、ロールプレイを通しての面接のスキルアップ	

⑦ 福祉用具・住宅改修研修		定員 30名 参加負担金 一人4,000円 申込締切 8月29日（金）
期日	前期：令和7年10月9日（木） 後期：令和7年11月6日（木）～7日（金）【全3日間】	
目的	・要介護者等の自立した在宅生活を支援するための福祉用具の活用方法や住環境整備の概要、住宅改修にあたっての必要な知識・技術等を一体的に学ぶ。 ・他職種との連携のあり方について理解を深める。	
受講対象	高齢者の相談援助業務等に従事し、利用者の生活支援のための福祉用具導入や住宅改修に関する基本的知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・福祉用具・住宅改修に関する基礎知識 ・様々な福祉用具の選び方・使い方 ・自立を目指した日常生活動作と福祉用具の適応・活用方法について ・手すり設置のポイント ・福祉用具・住宅改修のプランニング演習	

⑧ 排泄ケア研修 ～利用者の尊厳を守り、生き方を支えるケアを学ぼう～		定員 30名 参加負担金 一人5,000円 申込締切 6月20日（金）
期日	前期：令和7年 8月 1日（金）～ 2日（土） 後期：令和7年 9月 26日（金）～27日（土） 【全4日間】	
目的	・利用者の尊厳や生き方に関わる「排泄」の課題について、その機能障害の原因やメカニズム、排泄用具の使用方法を学ぶ ・チームケアを実施するための考え方・手法を学ぶ。	
受講対象	入所施設等で3年程度、排泄ケアに携わってきた者。または、それに資する経験や知識を持つ者 ※ 受講決定後、事前学習課題（事例、排尿記録）を提出頂く必要があります。	
内容（概要）	・排泄ケアに必要な基礎知識 ・アセスメントに活用できる排泄記録の読み方・使い方 ・認知症高齢者の排泄ケア ・排泄ケアに役立つ用具・用品ならびに食品 ・排泄ケアにおける問題の捉え方、目標の設定評価について ・事例検討	

⑨-1 ピンポイント介護技術研修（移乗・移動介助編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 8月5日（火）
期日	令和7年9月4日（木）	
目的	要介護者の生活を支える基本的な移乗・移動の介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・介護技術の基本 ・ボディメカニクスで考える介護動作 ・実技（移乗・移動の介助）	
⑨-2 ピンポイント介護技術研修（介護レクリエーション編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 9月26日（金）
期日	令和7年10月29日（水）	
目的	介護施設等で活用できるレクリエーションを実践的に学び、要介護者の生きがいや QOL の向上につなげる。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・レクリエーションの意義や役割 ・レクリエーション事例の紹介や実践	
⑨-3 ピンポイント介護技術研修（排泄介助編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 10月17日（金）
期日	令和7年11月19日（水）	
目的	要介護者の生活を支える基本的な排泄の介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・排泄介護技術の基本 ・実技（おむつの介助等）	
⑩ 福祉施設職員のためのコミュニケーション力向上研修 ～利用者の気持ちに寄り添ったコミュニケーションを行うためのヒント～ 【Zoom オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 一人 2,000 円 申込締切 1月7日（水）
期日	令和8年2月4日（水）	
目的	入所・通所施設における利用者とのコミュニケーションを、行動経済学の視点から科学的に学ぶことで、利用者の感情や行動の原因を望ましい方向へ促すヒントを学ぶ。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・ナッジ（行動経済学）の基礎知識 ・ナッジを活用したコミュニケーション例	

4. 会 場

『福島県男女共生センター』（女と男の未来館） 二本松市郭内一丁目196-1

※会場の変更があった場合は、各受講決定者へ別途お知らせします。

5. 受講申込みについて

- 別紙『受講申込書』に必要事項を記入のうえ、FAX、又はメールにてお申込みください。
- 到着後3日（営業日）以内に「到着確認印」押印し返信FAXいたします。返信がない場合はご連絡ください。
- 各コースとも先着順で定員になり次第締め切ります。ただし、同一の研修コースに複数名の申込をした施設・事業所については、受講者数の調整をさせて頂く場合がありますので予めご了承ください。
- 定員が超過した場合は、本会HP（9.「その他」にURL等記載）に掲載しますので、そちらも併せてご確認ください。

申込期間 令和7年4月10日（木）～

※ 申込締切日は各コースにより異なりますので、ご注意ください

6. 受講決定について

- 申込締切後、約1週間程度で受講決定通知を所属施設・事業所宛てに送付します。締切後1週間を過ぎても通知が届かない場合は、本会にご確認ください。
- 事前課題を課す研修の場合は、受講決定通知の際に同封し、お知らせいたします。
- 申込定員超過、受講対象外の方などには個別にご連絡いたします。

7. 受講料について

- 受講決定通知と併せて請求書・払込取扱票を送付します。研修毎に期限日を設けますので、それまでに必ずお振込みください。
- 払込後の返金はいたしませんので、予めご了承ください。
- 申込後、受講者の変更については原則可能です。ただし、前期・後期課程がある研修に関しては、同一人物の受講とします。変更やキャンセルがある場合は事務局までご連絡をお願いします。

8. 個人情報の取扱について

『受講申込書』に記載された個人情報は、研修の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修の名簿に氏名・所属・職名を記載します。

9. その他

- 地震や台風、感染症の影響等により中止や延期とする場合があります。その場合は本会ホームページにてお知らせいたします。

福島県社会福祉協議会ホームページ <https://www.fukushimakenshakyō.or.jp/>



- 当該研修についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

問 合 せ 先	福島県社会福祉協議会 人材研修部 福祉研修課 二本松事務所(介護実習・普及センター) 〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1 福島県男女共生センター5階 電話 0243-23-8306 FAX 0243-62-4633 E-mail kaigo@fukushimakenshakyō.or.jp ※日曜・月曜・祝日は定休（月曜が祝日の場合は火曜まで休みとなります。）
------------------	--

【参考】地域介護専門職員研修の対象施設について

研修受講を考えるにあたり、参考としてください。

なお、各研修における「受講対象」を必ずご確認くださいのうえ、お申込みください。

対象施設 研修名	【施設系サービス】 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 有料老人ホームなど	【居宅系サービス】 訪問介護事業所 通所介護事業所 など	【相談系サービス・その他】 地域包括支援センター 社会福祉協議会 など
地域アセスメント研修	○		○
広報力アップ研修	○		○
職場マネジメント研修	○	○	○
相談援助面接研修 (記録)(初級)(中級)	○	○	○
福祉用具・住宅改修研修		○	○
排泄ケア研修	○		
ピンポイント介護技術研修 (移乗移動) (介護レクリエーション) (排泄介助)	○	○	
福祉施設職員のための コミュニケーション力向上研修	○	○	